

ディスプレイユニット

取扱説明および注意事項（共通）

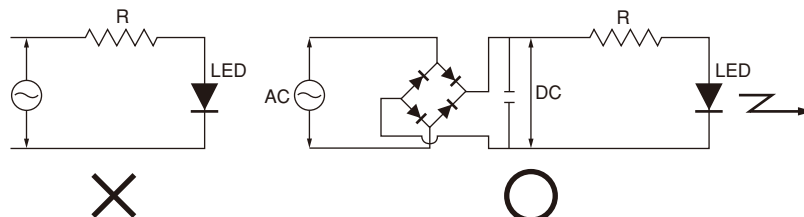


○配線の際は、端子の極性にご注意ください。コネクタを逆に接続すると、電源ショートが発生し焼損の恐れがあります。

正しい使い方

●照光について

1. LEDは交流で直接点灯できませんので、整流平滑回路を設けてください。



●配線について

1. 入力線は高圧線、動力線との平行配線を避け、シールド線や金属管を使用してノイズ対策をして下さい。
2. コネクタはカタログに記載の適用機種をご使用下さい。
3. コネクタ接続のときは裏面より必要以上の力を加えないで下さい。このとき表示器がパネル前面に抜ける恐れがありますので片手で表示器を持って行って下さい。

●取付について

1. 取付後動かないように堅固な場所に取り付けて下さい。
2. 表示器を集合密着取付や連続点灯する場合、発熱により周囲温度が規定以上になる場合がありますのでご注意下さい。この場合、換気を行うなどしてご使用下さい。
3. パネルカット寸法は必ずカタログ記載の寸法範囲以内で行って下さい。（外装処理後の寸法がカタログ記載寸法となるようにして下さい。）

●使用及び保管環境について

1. 取扱いの際、静電破壊にご注意下さい。
2. 腐食性ガスが発生する場所、高温多湿、潮風や直射日光の当たる場所などでのご使用は、避けて下さい。
3. 水や油のかかる場所、金属粉、塵埃の多い場所でのご使用には直接かからないよう適当な保護を設けて下さい。
4. 振動、衝撃および静電気の発生するところでのご使用は、誤動作や破損の原因になりますので避けて下さい。
5. 保管場所は、悪性ガスや塵埃、高温多湿を避けて下さい。又3ヶ月を過ぎる長期保管をする場合は、再検処理の上でのご使用をお勧めします。
6. 保管周囲温度 -25°C ～ 65°C 但し氷結および結露のないこと。

●その他

1. ケース、サイドプレート、及びボタンの汚れを拭き取る場合は乾いたやわらかい布で軽くふいて下さい。シンナー、酸性の薬品などは変形して動作不良の原因になりますので絶対に使用しないで下さい。
2. 本体に落下などの強い力が加わらないように、注意して下さい。
3. 組立はカタログ及び取り扱い説明書に乗っ取り正しく行って下さい。記載以外の組立、分解は、不良の原因となりますので絶対に行わないようにして下さい。

●用語の説明

1. リーディングゼロサプレッション機能……RBI、RBO端子を使用する事によって不要な桁の“0”表示を消灯する機能です。（AD形）
2. ホトカプラ有無……ホトカプラ有のご指定によりユーザー側とのインターフェースを絶縁し、ノイズから誤動作を防止します。特にノイズに弱い長距離伝送に有効です。（AD形）
3. 正論理／負論理……BCDコード入力のみにも適用します。入力回路はプルアップされていますのでユーザー側がオープンコレクタ出力回路で入力する場合に“0”を表示したい時、正論理タイプはA、B、C、Dの入力に対してトランジスタをすべて“ON”にします。負論理タイプはA、B、C、Dの入力に対してトランジスタをすべて“OFF”にします。
4. デコーダ／ドライバ……BCDコードの入力を7セグメントLEDを駆動させる信号に変換させる回路です。
5. データラッチ……A、B、C、Dの4ビットのデータが“保持”の状態にあることです。LEを“H”（オープンでも可）にすると後からデータが入ってきても表示は変わりません。
6. データスルー……A、B、C、Dの4ビットのデータが“読み込み”の状態にあることです。LEを“L”（=GND）にするとデータ入力の変化に伴い表示も変わります。

●動作上の注意

1. 電源を入れたまま接続したり、取り外したりしないで下さい。故障する場合があります。
2. 保存温度の範囲を超えた場合動作規定温度内に戻しても正常に動作しない場合がありますので注意して下さい。
3. VDDが安定する前に各信号を入力すると内部で使用していますLSIがフローティング現象やラッチアップ現象により破壊されることがありますので十分注意して下さい。
4. 電源入力部、制御信号部には保護回路を設けておりませんので、電源変動（リップル電流、電圧）、雷サージ、ノイズ、逆電圧等の電氣的ストレスが加わらないようにして下さい。素子が破損した場合、発煙、発火、焼損に至る可能性がありますので、必ず保護回路を入れてご使用下さい。